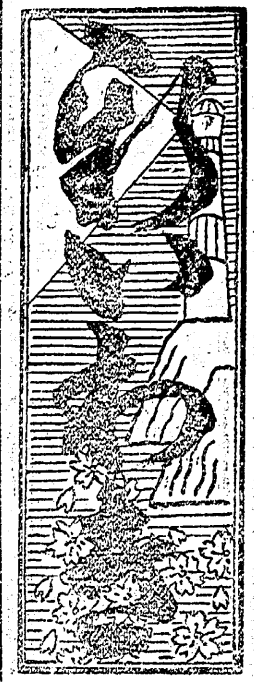
十月十三日　夕刊



日刊紙ノ日曜祭日及第一ケ月廿五日休刊
郵税十五錢一部二錢
廣告料　一行四十錢
特約廣告料　二十錢
發行所　福島縣平市大字二三
新いわき新聞社
印刷人　牛谷敬吾

神總動員强調週間
精國民
國を擧げる大運動
平市に於ける實施事項

平市では國民精神總動員强調週間（今十三日から十九日）中に於て爲す實行計畫につき昨十二日振興委員會を開いて協議の結果

十三日戊申詔書奉讀式擧行
小學校、青年學校等に於て奉讀式を擧行し市民一般を參列せしむること
奉讀式には國民精神總動員に關する講話をなし趣旨の徹底を圖ること
十月十七日神社に於ける祭祀執行
縣社以下神社に於て祭祀を執行し多數市民を參列せしむること、祭祀執行後國民精神總動員に關する講話懇談等を行ひ趣旨を徹底すること
强調週間中のラヂオ放送番組を一般に周知し聽取せしむること
以上は學校在鄕軍人會、青年團、婦人會その他各種團体と連絡を保ち行ふこと
の四項を決し今第一日より實施に入つたが尙ほ中央の計畫に準じて行はれるもの左記の如くである

十三日（前記の通り）十四日出征家族の慰問　兩角部隊長へ感謝電報　十五日の丸辨當　愛國貯金　節酒節煙　十六日出征家族への勤勞奉仕　十七日（前記）十八日早起會　大掃除　大越中佐銅像掃除　十九日野外運動　强行軍　日の丸辨當遠足

不用品の寄贈を請ひ
軍用機『荒鷲』を献納
平市聯合青年團の活動

平市聯合青年團では今十三日から十九日に至る國民精神總動員强調週間に當り戰爭は擧ろこれからであると市民に呼びかけ「擧國一致、盡忠報國堅忍持久」の指銘下に大運動をなすことに決し該週間中市內各青年團に於て各家庭より古雜誌及び新聞紙類その他古金物等不用品の寄贈を請ひこれを大日本青年團本部に送る全國からの蒐集で得たる資金造成を以て軍用機「荒鷲」を献納することになつたが市內各戸から右の寄贈を請ふのは來る十七日頃の豫定であると

縣主催の大講演會

明十四日午第三校

國民精神總動員の强調週間に於て縣は福島、郡山、若松、平の四ケ市に大講演會を催される筈とは既報の如く明十四日午後一時から第三小學校講堂に右講演會を開催される講師は左記の如くである

▲文部省教學局教學官志水義章氏　本縣警察部長青柳一郎氏

平市軍事後援會寄附
累計一萬一千三百八十三圓

平市軍事後援會では資金一萬圓の造成を目標として市內各區に大体の寄附割當てを行ひ募集を開始したところ銃後の熱誠を迎ひて特志者の寄附を合せ早くも豫定の一萬圓を超ゆる旺盛裡に尙ほ數區の寄附を殘してゐるが其の後左記の寄附納入を受けたので累計一萬一千三百八十三圓九十二錢に達した

【掻槌小路四百七十四圓】八十圓阿部政右工門　三十圓堀江工業株式會社　遠山稻吉　二十圓色川一　長谷川浩太郎　大河原一郎　十五圓佐々木健一郎　佐藤福太郎　石城中小商工互融會　十二圓堀喜一　十圓笹生仁一　田村岩雄　前澤文太郎　志賀子之松　武田清次郎　八圓石山平一郎　七圓鄕尾善之　山野邊義政　六圓松野尾繁雄　五圓堀江新太郎　松本源吾　長瀨量平　酒井猶次　大須賀元助　江尻國政　松本幸松　佐藤學二　吉田正夫　國井正　佐藤富義　大角惣鄕　菊地ふさ　小松正治　矢內忠　菊地竹雄　高田二果　綠川佳一　藤森豊次　穴戸庄兵衛　千葉彦治　酒井喜代正　吉井要人　天野忠彌　四圓門馬淺次郎　三圓青木次男　久栖道男　青木喜介　菱沼倉治郎　山岸幸作（以上）

【四ツ波四十五圓三十錢】六圓九十五錢小野龜松　六圓四十五錢小野清太郎　二圓九十九錢和田卯之松　二圓七十七錢小野長一　二圓四十四錢山野邊長太郎　二圓十二錢下藤福松　二圓二錢和田清吾　一圓七十七錢松崎孝忠　一圓七十錢鈴木一郎　一圓四十一錢鈴木利一　一圓二十五錢小野久重　八十一錢下藤秀雄　七十九錢小野克美　七十七錢鈴木玉吉　六十七錢小野淺治　六十六錢山野邊ゆき　六十二錢小野金治　五十五錢松崎朝吉　五十一錢松崎伊三郎　四十錢下藤與三郎　三十九錢阿邊迪峯　三十二錢下藤繁由　十五錢小野さだ（以上）

四倉繭市況

平均三七圓五四

四倉繭市場に於ける昨十二日の出廻りは百八貫八百九十匁取引相場は左記の如くである

最高四〇圓　最低三四圓
平均三七圓五四錢

前科十六犯ものと
肩書二犯の詐欺脅喝
共に宮城刑務所を出たのが
好みになつた馴れ合ひ

詐欺脅喝で平署に檢擧された相馬郡大甕村生れ當時住所不定無職前科十六犯吉田留五郎（六四）及び石城郡湯本町の三函生れ前科二犯永井七三郎（四〇）の兩名は平檢事局大脇檢事の取調べを受け昨十二日平刑務支所に收容されたが吉田は去九月三十日六年の懲役を終えて宮城刑務所を出獄して間もない十月三日己れの實家である相馬郡亀平村の上高平に旅人宿を營む半澤こま方に暴れ込み此の家はお前も知る通り本當は俺が相續する筈のものだ母の存命中相當の金を遣してあるのだから金を呉れと怒鳴り散らして現金二十圓をむさぼり該金を懷ろに湯本町字吹矢料理店玉の家事駒木根捨吉方に登樓一圓三十錢分を遊興の後相方の酌婦を連れて活動寫眞を見に出かけ當夜は玉の家に泊ることの約束を酌婦との間に出來てゐたところ宿泊料四圓を出さねば駄目だと拒絕されたのでそんなに暴利をするなら俺にも考へがあるぞ惡口を叩へて同家を辭し前記永井が宮城刑務所を同じく出獄した好みがあるので同人を同伴再び玉の家へ引返して前科十六犯の肩書を威嚇の種子に永井に交渉させて同家から金五圓の謝罪金を出させ更に永井と共に町內の玉の家支店方へ登樓して四圓餘を飲食した後本店が余りボリ過ぎるからこらしてやつて支店も矢張り同じだと戶障子や箪笥を蹴散らして之また詫料に前記四圓餘を無錢飲食した

濱木炭九月の產高
石城の不振で減產
本年累計七三萬二千七百余も
前年よりは廿七萬俵余減

濱三郡に於ける去九月の木炭生產高は十三萬八百四十三俵で前年同期の十三萬二千四百四十七俵より千六百四俵を減產した三郡別の成績を上ぐれば双葉の九月產高六万六千五百三十六俵は昨年より三千五百八十五俵、相馬の一万六千六十一俵は八百六十一俵を共に前年に比して增加したが石城に於て昨年同期五萬四千二百五十六俵より六千十俵を減ずる四萬八千二百四十六俵であつた爲めで累計高の本年度に於ける七十三萬二千七百六十九俵も前年度のそれに比して二十七万四千二百七十五俵の減產である

贓物故買に
懲役四ヶ月
罰金二十圓

石城郡好間村の大館古物商鈴木文三郎（三三）が平市字新川町佐藤鑄物工場佐藤さわ方職工二名が主家のホウ金を窃取したものを情を知つて買ひ受け數回に亘つて盜ましてゐた同贓品を元鑄掛屋で腕に覺えのある同人は裏たね（四二）伴藤一郎（三七）に手傳はせて自家に備付する小型な溶鑛爐で溶かし何食はぬ顏でゐた贓物故買は今十三日午前十時平區の公判で檢事の求刑通り懲役四ヶ月罰金二十圓を言渡された

他の物を我もの、
賊にも他一倍の慾
脫囚の意地きたない言ひ草
噴飯させられる司法主任

平刑務所の脫獄囚石城郡神谷村生れ鈴木伊助（三七）同郡內郷村生れ草野儀一（三〇）に對し平署では骨子だけの聽取をすましてゐたが今十三日大脇檢事の拘引狀を執行されたので本格の取調べを開始したが兩名牒合せた脫獄逃走の當夜內郷村川平入山坑高野守方から洋服及び五十四圓廿錢記載の郵便貯金通帳と現金三十一圓を窃取したのは七日夜の十一時頃で其の後共に山傳へを以て關本に至り汽車で磯原驛まで落のび九日に逮捕される直前迄は離れなかつたもので前記高野方に忍んだ際は鈴木が屋內から盜んだ物を草野が軒下から運んだと語り伊助の野郎は卅圓も盜つてゐながら俺にはたつた五圓よりくれぬと云へば儀一のやつが甘そうに食つてゐるから何んだと問ふと菓子だと云つて盜んだものを獨りで平げた太い野郎だと他人の物を自分の物と思つてゐる泥棒にも意地の汚ない慾の皮を語るので司法主任を噴飯させてゐるが既決未決の囚人が通謀して逃走した場合三ケ月以上五ケ年の懲役であるに加へ重ねて窃盜してゐる二人の刑は輕くなからうとのことである

書道用
書狀用
古梅園の墨
文　魁文堂
電話313番

今晩は北の風、曇後雨
明日は北の風、曇一時晴
（小名濱測候所）

御挨拶

小生今回第一線實務に就く事となりました、實は御伺ひする筈ですが急ぎます爲め御目にかゝれません、悪しからず、
留守中は平支局の一切を片寄一二君が代行する事となりましたから小生同樣御援助の程御願申上ます。

十月十三日

いばらき新聞平支局
太竹庫

常識講座

ラオチューは洋食屋が備えて飲ましてゐるが支那酒だ、正しくはラオチューで糯米を原料として蒸溜させて造つた老酒のこと、支那の紹興が本場であるところから紹興酒とも云ふ

毛皮の先端兒『ミンク』(十)

次へでイタチの毛皮と其飼育法

「いたち」の毛皮は本邦特産の實用的な毛皮であつて歐米市場から前に述べた「みんく」のイミテーション(模倣)または代用品として歡迎される爲めに逐年輸出を增加し昭和十年に於ける同海外行きは總高五十五萬枚この價格二百三十余萬圓の巨額に達し輸出毛皮中主要な位置にあるが農林省としては目下のところ稀獸が少なく民間飼育者の中から分讓するものより受けねばならぬが其の價格が一定せず一番(すがひ)二、三十圓程度と稱してゐるが斯る高價は何時までも維持されず漸次安くなることであらう、また野生「いたち」があるがこれは冬期野生の「成いたち」を捕獲しても容易に馴れ難く從つて繁殖も困難であるから六、七月の候に於ける離乳期の仔を拂へて飼育すれば馴れることが容易である、

飼育法、現在行はれてゐるものに舍飼と箱飼とがある

飼育箱は相當堅牢なもので二尺五寸平方ぐらゐのものを用ひ前面を全網張として中に縱一尺、横と高さは各七、八寸ぐらゐの巣箱を置いて尙ほ水槽に清水を給與しまた敷藁を與へて一室一頭づゝを可とする、それから舍飼の場合には舍の全部または一部覆をふものと全然覆ひを行はれないものがある。

光堂洋服店
平市三丁目　電話三〇七

◇一般印刷物も御引受致します
新いわき新聞社

開店記念冬衣大賣出し
十月十二日より十八日まで
十月は弊店の開店記念日に當りますので日頃の御愛顧の御禮と致し清新の呉服洋品雜貨を豐富に取揃へ記念賣出しを開催
▲愛國バラマウント着尺(新柄宣傳)
▲實用…御婚禮衣裳特賣
▲秋…冬　洋品雜貨
おつとめ品
バラマウント着尺金壹圓五拾錢
新御召銘仙……金貳圓八十錢
羽織裏金四十五錢
正紺實用縞金壹圓十錢
袢天地金五十八錢
(御買上金參圓每に抽籤により出征軍人に贈る『慰問袋』)
三井呉服店
平市三丁目　電話三八・二八四番

秋＝冬＝秋
愈々防寒具の御用意を！
子供帽子
大人帽子
新柄毛糸服
實用毛シャツ
綿製品
豐富陳列
にツルヤ
平四・電一四〇

漢方
ばくすい
ばくすい
ばくすい